



2026年第9回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・東京 大会開催概要

スペシャルオリンピックスでは、オリンピックと同様に4年毎に夏季・冬季の世界大会を開催しています。「2026年第9回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム」では9競技を実施し、全国47地区組織が参加します。また、翌年2027年にチリ共和国で開催される世界大会への日本選手団選考を兼ねて開催します。

- 大会名称：2026年第9回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・東京
略称：スペシャルオリンピックス2026東京

- 開催日程：2026年6月5日(金) - 7日(日) ※ 屋外競技中心
2026年9月4日(金) - 6日(日) ※ 屋内競技中心

競技前日：会場設営・選手団入り
競技1日目：競技予選(ディビジョニング)
競技2日目：競技決勝 / 表彰

- 開催地：東京都

- 予定参加数：47都道府県の地区組織
 - アスリート / 約1,400名
 - 役員・コーチ / 約1,100名
 - 大会役員・審判 / 約500名
 - ボランティア / 延べ約3,400名
 - 観客 / 延べ約15,000名

- 実施競技/会場：9競技

競技	会場(案)	日程(案)
バスケットボール(US)	TOYOTA ARENA TOKYO	'26年6月5日(金) - 7日(日)
パドミントン	BumB東京スポーツ文化館 - メインアリーナ	'26年6月5日(金) - 7日(日)
テニス	有明テニスの森公園 - テニスコート	'26年6月5日(金) - 7日(日)
陸上競技	駒沢オリンピック公園総合運動場 - 陸上競技場	'26年6月5日(金) - 7日(日)
サッカー	駒沢オリンピック公園総合運動場 - 第二球技場	'26年6月5日(金) - 7日(日)
卓球	駒沢オリンピック公園総合運動場 - 屋内球技場	'26年6月5日(金) - 7日(日)
フライングディスク	駒沢オリンピック公園総合運動場 - 補助競技場	'26年6月5日(金) - 7日(日)
バスケットボール(TR)	京王アリーナTOKYO - メインアリーナ	'26年9月4日(金) - 6日(日)
競泳	京王アリーナTOKYO - プール	'26年9月4日(金) - 6日(日)
ボウリング	東京ポートボウル	'26年9月4日(金) - 6日(日)
開会式	TOYOTA ARENA TOKYO	'26年6月5日(金)
HAP	TOYOTA ARENA TOKYO - サブアリーナ	'26年6月5日(金)

※ TR=トラディショナル US=ユニファイドスポーツ

- 予定事業：開会式、閉会式、ヘルシー・アスリート・プログラム(健康診断)等
- 主催：公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
- 後援：スポーツ庁、厚生労働省、東京都、港区、港区教育委員会、江東区

公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本パラスポーツ協会、公益財団法人笹川スポーツ財団、公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本歯科医師会、一般社団法人全国手をつなぐ育成連合会、公益財団法人東京都スポーツ協会、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会、公益財団法人日本水泳連盟、公益財団法人日本陸上競技連盟、公益財団法人日本バドミントン協会、公益財団法人日本バスケットボール協会、公益財団法人 JAPAN BOWLING、公益財団法人日本サッカー協会、公益財団法人日本卓球協会、一般社団法人日本フライングディスク協会(2026年1月末時点)

■ **スペシャルオリンピックスとは**

スペシャルオリンピックス日本(SON)は、知的障害のある人たちにスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である競技会を、年間を通じて提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。スペシャルオリンピックス日本は、スペシャルオリンピックス国際本部より国内本部組織として認証を受け、日本国内での活動を推進しています。

■ **スペシャルオリンピックス日本ナショナルゲーム過去大会一覧**

開催年	開催地	競技数	参加地区数	参加者数
1995年	熊本	5競技		アスリート137名/コーチ他64名
1996年	宮城 福岡	1競技		アスリート34名/コーチ他17名
		2競技		アスリート45名/コーチ他21名
1998年	神奈川	8競技		アスリート194名/コーチ他134名
2000年	長野	3競技		アスリート121名/コーチ他81名
2002年	東京	11競技	21地区/2設準 ※海外4カ国	アスリート816名/コーチ他546名
2004年	長野	7競技		アスリート620名/コーチ他393名
2006年	熊本	12競技	32地区/8設準	アスリート1016名/コーチ他560名
2008年	山形	7競技	29地区/3設準	アスリート533名/コーチ他330名
2010年	大阪	12競技	38地区/8設準	アスリート1042名/コーチ他591名
2012年	福島	7競技	31地区/2設準	アスリート574名/コーチ他320名
2014年	福岡	12競技	42地区/5設準	アスリート975名/コーチ他593名
2016年	新潟	7競技	31地区	アスリート614名/コーチ他329名
2018年	愛知	13競技	47地区	アスリート996名/コーチ他606
2020年	北海道	7競技	37地区	アスリート616名/コーチ他341名 ※中止
2022年	広島	12競技	47地区	アスリート787名/パートナー39名/コーチ他482名
2024年	長野 北海道	8競技	33地区	アスリート474名/パートナー26名/コーチ他286名

※設準…設立準備委員会のこと ※2020年大会は新型コロナウイルスの影響により中止

■ **スペシャルオリンピックス日本 パートナー企業・団体**



エンタタイムフィットネス(株式会社Fast Fitness Japan) 三井住友海上火災保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 SCSK株式会社 新日本空調株式会社 株式会社セールスフォース・ジャパン